



2010年12月10日 第793号



発行 関西学院大学新聞編集部
〒662-0891 西宮市上ヶ原1番町1-155
関西学院大学新学生会館3F
電話：(0798) 51-1181
HP：http://www.justmystage.com/home/kgpress/
E-mail：kgpress2009@yahoo.co.jp

新月祭2010 心温まる伊藤由奈Live

新月祭2010が神戸三田キャンパス(10月23、24日)と西宮上ヶ原キャンパス(10月31日、11月3日)で開催された。「魅せられて、関学」というスローガンの通り、後夜祭には伊藤由奈が来るなどさまざまなイベントや模擬店の催しが行われた。大学祭は多くの人で活気に溢れ、関学の魅力が十分に発揮された。

【関連記事4・5面】



様々なヒット曲を熱唱する伊藤由奈さん

新月祭恒例イベント「後夜祭ライブ」。今年のは、歌手の伊藤由奈さんがゲストとして招かれた。ライブタイトルは、「後夜祭伊藤由奈Live 10.10.10」で、MC「heart for you あなたに贈るメッセージ」。寒い中、4000人以上の観客が、彼女の歌声を聞くために、中央芝生特設ステージに足を運んだ。

圧巻のステージを披露 応援団総部祭

応援団総部は10月31日、応援団総部祭「新月旗の下に」を開催した。4回生のラストステージとあって、多くの観客が訪れた。前半は応援歌や学生歌などが披露されたほか、チアリーダー部や吹奏楽部などが単独ステージを行った。終盤の幹部紹介は幹部らに賞状が贈られ、涙を流す部員もいた。そして最後にサプライズとして、関西大、同志社大、立命館大から応援団が駆けつけ激励のパフォーマンスを行い幕を閉じた。



迫力あるパフォーマンス

扉の一言

『どんな人だって その人の人生という 舞台では主役である』 遠藤周作

うどん旋風来たる 田尾和俊氏による講演会

11月3日、田尾和俊氏による講演会「讃岐うどんブームのプロモーション」が中央講堂で行われた。関学卒業生である田尾氏の話を聞く機会には多くの人が集まった。登場するや、軽快なトークで会場に多くの笑いを巻き起こした。

ある日、田尾氏は納屋の一角でうどんを食べ、地元のおばちゃんが出てきたアスパラをその場で揚げてもらい、うどんに乗せて食べている光景を目の当たりにした。それと同時に「もしかしたら若者にうけるのでは？」という考えが頭をよぎった。当時、香川県では讃岐うどんは夕サイ！親父臭い！というイメージがあった。それをくつがえすために讃岐うどんの掲載を始めた。また、お笑いのうどん屋紹介「麺通団」も始めた。こうして讃岐うどんブームは巻き起こったのだ。

人生は一度きり ルー大柴氏講演会

10月24日、関西学院三田キャンパスにてルー大柴氏の講演会が行われた。「ライフイズワンス!! 恥かけ! 汗かけ! 涙しろ!」と題されたこの講演会は、ルー大柴氏の学生時代、恋人や友人との出会いと別れ、高校卒業後の一人旅、俳優を志したきっかけ、などについてのものであった。会場には学生だけでなく、小さな子どもや年配の

人々まで幅広い年齢層の人々が足を運んだ。ユーモラスな話し方で有名なルー大柴氏は、講演会でも英語と日本語を組み合わせた独特の話し方で会場をわかせた。だが面白い話ばかりではなく、彼の不調だった時期や大切な人々との別れなどについても真剣に語り、人々をひきつけた。講演後には学生からの質問や参加者へのプレゼント

輝くミスKG 西宮ガーデンズ

ミスキャンパス関西学院2010実行委員会は、11月6日に西宮ガーデンズ4階スカイガーデンで、1つ目は「Intelligence」、「Will」、「Beauty」の3つの単語を組み合わせた言葉である。見た目の美しさだけでなく、自分の可能性を広げようとする意志と広い視野を持つこと。そして、社会の中で男性に負けない競争力を備えた女性を目指すという意味だ。



ミスキャンパスの片山詩帆美さん(文・3)



ウエディングドレスを披露

才色兼備な女性

見事、ミスキャンパスに輝いたのは片山詩帆美さん(文・3)だ。準ミスキャンパスは松川亜佑美さん(商・3)が選ばれた。片山さんは、本企画に参加して自分の中で何か変化があったのかという質問に対して、「周りの友達のありがたみがより実感できるようになった」と語った。女性の社会進出が目立ってきた現代で、本企画は女性の力強さを改めて感じさせた。今回出場した6人の今後の活躍に期待したい。

- 2,3面 KGニュース グリーククラス全国1位 次期学長決まる
【論説】 日進月歩
4,5面 新月祭特集
6面 連載記事
7面 文化総部面
8面 学生・大阪維新の会 インタビュー

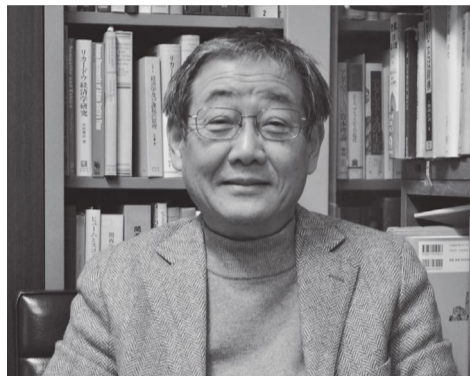


電車内での携帯電話の使用はマナー違反である。誰もがわかっていてのことなのだが、ときにはそのことを忘れてしまうのか、電車内で通話している人を見かけることがある。そんなときには誰かが注意をする。しかし、電車の中でメールなどをすることに悩んでいる人が多い。この場合における通話とメールの送受信との決定的な違いは、発音をするか否かである。つまり、電車内での通話に対しては注意をするが携帯電話の使用に對しては注意をしない人は、通話をする声で周りの迷惑になると主張していると言え、確かに通話する声は周りの迷惑になりえる。どうして電車の中で通話は許されず、メールは黙認されているのだろうか。通話する声は周りの迷惑になりえるが、車内での会話も迷惑になりえる。携帯電話を使用する際、発信される電波がベースメーカなどに悪影響をおよぼす。それならばメールでの使用もマナー違反だ。しかし、使用者はベースメーカの問題ではないと認識している。近頃、大学生のモラル低下が指摘されている。マナーとは何か、どうしてそんなマナーが存在するのか、ということを考える姿勢が大切なのである。

# 次期学長決まる

## 井上琢智先生

次期学長に経済学部の井上琢智先生が選出された。任期は2011年4月1日から2014年3月31日までの3年間。先生の専攻はイギリス経済思想史と日本経済思想史である。またかつては経済学部長、図書館長や副学長を務めた。学長に就任してから取り組みたいことについて、「学生たちが四年を過ごした後、関学で学べてよかったと思ってもらえるような学校にしていきたい」と話した。同時に、「本分である勉学や課外活動に、より一



学生に向けてメッセージを送った井上先生

### 自立した振る舞いを

Mastery for Serviceを見つけてほしい」と語った。学生のモラルの低下について、「学生だからといって、責任ある行動をとり、自立した振る舞いをしてほしい」と述べた。一生の中で、「答えのない問いに對しても、常に問い続けることが大切だ」と強調した。「就職して働き始める時、自分が関心をもつことを考えることが難しい。だからこそ、貴重な学生時代を無駄にしてほしくない」と関学生へメッセージを送った。

### 異文化への理解高める

#### モンゴリアウイーク

11月4日から8日の5日間、三田キャンパスで「モンゴリアウイーク」が開催された。総合政策学部の上野真城子先生のゼミ生による企画で、今回が初めてとなる。催しでは、写真の展示や、実際に水を選び、重さを体感するワークショップなどを実施した。また、ゼミ生による環境衛生・政治外交・教育の3分野の研究発表や、現地の高校生とビデオを通じてのシンポジウムも行われた。中でも注目を集めていたのが、遊牧民の移動式住居「ゲル」だ。ゲルは上野先生が今春購入したもので、直径約5

### 日本人に伝える使命

ある。同時に私たちもモンゴルへの理解が重要となるだろう。今回の「モンゴリアウイーク」は、モン



移動式住居「ゲル」を展示

ゴルと日本、そして私たちが少しでも近づく良い機会を与えてくれたに違いはない。

### 一糸乱れぬ大合奏

#### クラシックギタークラブ

クラシックギタークラブは11月13日、高槻現代劇場大ホールで第50回定期演奏会を開催した。プログラムは全3部で構成された。第一部は小合奏、三重奏、四重奏、3回生アンサンブルの4ステージ。第二部は二重奏、4回生アンサンブル、独奏を披露した。締めくくりに第三部は、2、3、4回生全員が大合奏で一つとなり、会場をとりこにした。

部長の井上省吾さん(社3)は「たくさんの方に来場していただき、感謝の気持ちです」と話した。演奏会では、井上さんを始めとする3回生も、11月末に次の世代へバトンを渡した。井上さんは、「クラシックギターといえど、大合奏の一曲、ドヴォルザークの交響曲第9番「新世界」は、一糸乱れぬの部に入ってよかったと思えるような活動をこれからも続けてほしい」と後輩へエールを送った。

### 裁判員の責任を熱弁

#### 高見弁護士講演会

関西学院大学法政学会は11月5日に高見秀一弁護士特別講演会を開催した。「裁判員制度と今後の課題」

講演で高見弁護士は裁判員制度の概要、人を裁くことの重大さと心構え、弁護士の経験に基づいた日本の司法の現状を語った。

裁判員制度が施行されてすでに1年以上が経過した。国民にとってもはや無関係ではない。自分が下した判決により、冤罪を生んでしまふ可能性もある。裁判において重要な点を高見弁護士は「裁判官も裁判員も証拠に基づいて判決を下さなければならぬ」と語る。テレビなどで裁判員制度はたびたび話題になるが、国民はあまり裁判員に対し

### 4回生最後の演奏会

しかし重圧が大きかった分、より練習に励み、本番は大成功に終わった。特に第三部の大合奏の一曲、ドヴォルザークの交響曲第9番「新世界」は、一糸乱れぬの部に入ってよかったと思えるような活動をこれからも続けてほしい」と後輩へエールを送った。

### 日本への熱い思い

#### 鳩山前首相講演会

今年4月に国際学部が開設したことを記念し、10月18日に鳩山由紀夫前首相による国際学部開設記念連続講演会第9回が開催された。鳩山前首相の講演を聞いたために講演1時間前から定員をはるかに上回る学生が列をなした。

鳩山氏は講演の中で「友愛」「東アジア共同体」「新しい公共」の3点について言及した。特に力を入れたのは、東アジア共同体について。「今後、経済・文化の面で東アジアとの協力が必須」とし、その一例として、そのような敗北主義ではなく、自分達が一番だとい

### 新たな地域イベント

#### 第1回甲東園バル

10月30日に第1回甲東園バルが開催された。バルと屋街に見立てて、飲食店めぐりを楽しんでもらうための企画だ。

第1回甲東園バルでは、タイ料理や中華料理、カフェなど計34店舗が参加した。各店舗が本企画のために、工夫をこらした一品とドリンクのセット(一律700円)を用意した。

参加店の一つである、居酒屋「樽斗」の川上清隆さんに話を聞いた。今回の手ごたえを、「1日だけの企画にもかかわらず、大盛況だったのでよかった。参加者から次回の開催を期待

### 政治を変えるのは若者

決して長くない講演会だったが、政権交代直後の首相を経験した鳩山氏から得るものは多い。若者の政治離れが叫ばれる中、学生が政治に直接触れる貴重な機会となった。

「自分たちの思いが形となって伝えることができるとができてうれしい」と語るのには、ゼミ長の多田渚さん(総政・4)も上野ゼミでは毎夏、研修でモンゴルに赴く。その研修ではモンゴルが直面する問題を考え、また一方で現地の人の温かさに触れ、文化を知るようになる。多田さんは「親日家が多いモンゴルと比べて、私たち日本



上ヶ原の夜空を彩るツリー

時30分から23時まで点灯される。クリスマスツリーだ。ツリーは12月25日まで、16





# 魅力溢れる関学

## 法自の虹広がる

### 上ヶ原・法自イベント

法学部学生自治会（以下、法自）は新月祭期間中、三田・上ヶ原両キャンパスにおいて法学部祭を開催した。法学部祭では、『みんな描くRainbow』と『あなたにとって特別な日』（以下Rainbow）と、お化け屋敷『呪われた法学部』あなたはこの恐怖に耐えられるか（以下、お化け屋敷）が開催された。



人々を驚かせたお化け

Rainbowは、来場者に記念日を書いてもらって大きな虹を作るという企画だ。会場には赤や緑などの小さな色紙が用意され、来場者は好きな記念日を書き込む。そして会場内に設置された虹型の板に張り付けていく。するとカラフルに彩られた虹が完成する仕掛けだ。来場者は思い思いに虹を作っていた。

一方向かいの会場ではお化け屋敷がオープンしている。初の試みという本企画だが、連日大人気で来場者が途切れることはなかった。最終日には受付を途中で中止したほどで、残念ながら記者も中に入ることはできなかった。

両企画は法自の活動を広く知ってもらうために開催された。それに伴って、場内では法自について書かれた冊子が配布されていた。来年の企画については未定だが、今年行き損ねたという人は是非楽しみにしてほしい。

## 新鮮なハンドベルの音色

### ハンドベル・三田キャンパス



斬新な演奏方法

会場に並べられた座席には子供連れの女性や、年配の夫婦が目立った。関学生だけではなく、様々な人々が耳を傾けていた。

10月23日にランパス記念礼拝堂ラウンジにおいて、理工学部ハンドベルがコンサートを開いた。涙そうそうや君をのせてなど、広く親しまれている曲をはじめ、7曲余りを披露した。

部員全員が理工学部であることから授業が多く、なかなか練習時間がとれないという。そんななかでも一致団結し、作り上げたメロディーはとても美しくいった。

大学祭実行委員会は三田キャンパスで「全力で遊べ☆ENERGY PARK（Powerful）」を開催した。本企画は10月23、24日の期間中、正門横芝生で行われた。

訪れた人たちは、だるまおとしやスーパースポーツ、Pick a Winnerの演劇、ハンドベルは振って音を出すというイメージがあるが、この曲ではバチでベルを叩くことで音を出す。聞き慣れたハンドベルの演奏とは異なり、とても面白い。毎日こうして楽しめた遊びよりもむしろ楽しめた。



ボールすくいをする子どもたち

## 笑顔で溢れる芝生

### 三田・ENERGY PARK

本企画は参加者にたくさん笑顔と満足をもたらしたようだ。体を動かして遊ぶことで、人々に幸せの所在を魅せたひとときであった。

## 心に響く歌声

### 吉村綾花ライブ in 三田



美しい歌声を響かせる吉村さん

大阪を中心にライブ活動をしている、シンガーソングライター吉村綾花さん。

彼女は三田キャンパス正門前特設ステージでライブを開催した。10月24日の12時〜12時30分の30分というミニライブであった。そして、非常に多くの人が足を止めて、彼女の歌に聞き入っていた。

30分という短い時間の中



イス取りゲームで盛り上がる参加者

## 催物で観客と一体に

### 三田・総務放送局

10月23日、24日に行われた総務放送局主催の三田アウトドアイベントには学生以外にも多くの子ども達が集まり、にぎわいを見せた。

24日のイベントに出場したのは、法学部学生自治会とK.G.Wing、Flip-Flipの3チーム。それぞれクイズや椅子取りゲームで競い合った。参加者が回答できなければ観客が代わりに答えることのできる観客参加型のクイズでは、多くの子ども達から放送されている番組「は？」という質問には子ども達から拳手の嵐。男の子セメントの作成など、現地の住民と協力している姿が生き生き写っていた。

フリーマーケットでは、部員の有志が自身の使わなくなった衣類などを持って寄って販売した。これらの売上げの一部は、来春の海外ボランティアプログラムの資材金として使用される。またフリーマーケットの母親が作る刺繍入りのタオルも併せて店頭で並べられた。刺繍入りタオルの売上げの一部は、タオル商品に勤しむ母親たちの収入になる。

## 芸人と関学生の共演

### 三田・お笑いライブ

10月24日に大学祭実行委員会は神戸三田キャンパスで「三田爆笑大作戦2010〜みんな一緒に笑っちゃいまSHOW〜」を開催した。招待されたお笑い芸人は、フルーツポンチ、GAG少年楽団、桜・稲垣早希の3組。イベントはそれぞれのネタ披露と

関学参加型のコラボ企画の二部構成で行われた。イベント開始直前から雨が降り始め、気温もかなり低い状態であった。さらに安全のために観客は傘をさすことを禁止されていた。それでも後ろからステージが見えないほどの人数が集まった。ネタ披露では、各

## 魂のこもった似顔絵

### 三田・絵画部秋季学内展

絵画部弦月会は、今年新月祭で、秋季学内展を開催した。場所は、三田キャンパスII号館1・2階

芸人が個性をいかして雨と寒さを吹き飛ばすほどの笑いを生み出した。特にフルーツポンチは学生だけでなく、観覧に来ていた子ども達からも大人気であった。

ネタ披露の後はS-1バトルと題された、芸人と関学生のコラボ企画が行われた。S-1バトルは、3組の関学生達がそれぞれ持っている一芸を披露し、審査員となった芸人がそれを評価して優勝を争うというも

の。高尾・浜田ペアは中国ゴマとハイパーヨーヨーの実演、吉村綾花さんはオリジナル曲「赤い糸」の披露。今泉・浜田ペアはマジックを行い、観客を沸かせた。結果は中国ゴマとハイパーヨーヨーの高尾・浜田ペアが優勝した。

大雨の中であったが、お笑いライブは芸人と関学生が一体となり、見事に三田キャンパスの新月祭を締めくくった。

今回の展覧会の目的は、定期的に行われる展覧会の来場者獲得のため。そして、来場者との交流を楽しむため。今回の展覧会は、12月開催予定の「第88回弦月会展」。ハイレベルな作品が多く展示されるので、気になる人はぜひ足を運んでみてほしい。

## フリマで国際ボランティア

### Eco-Habitat 三田キャンパス

Eco-Habitat（エコハビタット）は三田キャンパスで10月23、24日の新月祭にて写真展とフリーマーケットを開いた。

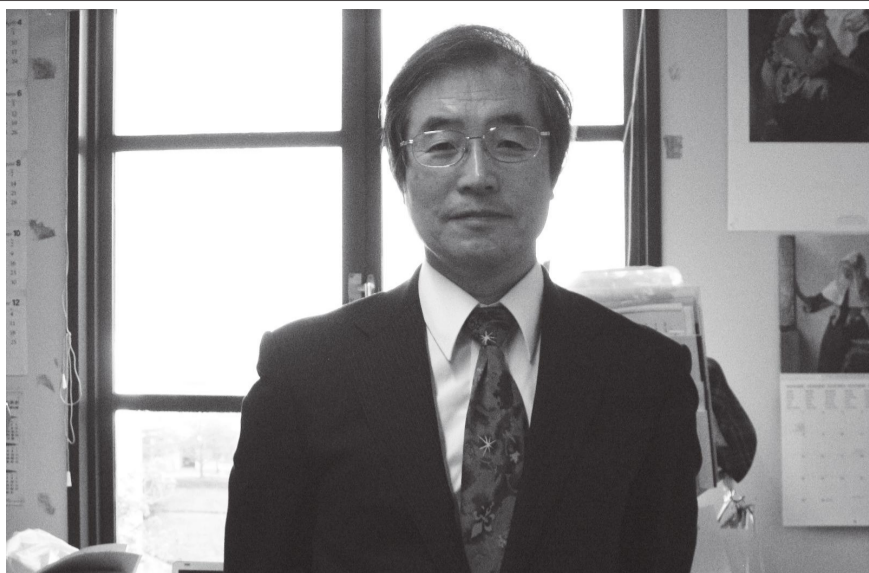
写真展は当サークルが今夏に実施したフィリピン建築ボランティアの様子を撮影した写真を展示。写真はプロックの組み立てや

部員の有志が自身の使わなくなった衣類などを持って寄って販売した。これらの売上げの一部は、来春の海外ボランティアプログラムの資材金として使用される。またフリーマーケットの母親が作る刺繍入りのタオルも併せて店頭で並べられた。刺繍入りタオルの売上げの一部は、タオル商品に勤しむ母親たちの収入になる。

Eco-Habitat会長の松本亮平さん（総政・3）は、「私たちの活動を、三田生や来場者の人たちに知ってもらいために本企画の目的を語った。また、Eco-Habitatは来年の2月5、6日に大阪国際交流センターで開催される「ONE WORLD FESTIVAL」にブースを出展する予定。



似顔絵を描く部員たち



# 教授の部屋

## 鮎川潤

法学部 教授

今回取材したのは、法学部法律学科の鮎川潤先生だ。鮎川先生は刑事政策全般を専門としていて、特に少年司法について研究している。最近では、更生施設を出所した少年たちの調査等を行っている。更生施設とは、少年院を出て家に戻るとき、事情により家に戻れないような場合、入ることが多い施設である。ほとんどの場合、親から自宅へ戻ることを拒否されたり、反対に家に戻らない方がよいとみなされたケースが当てはまる。

最近の少年犯罪について鮎川先生は、「統計的に見ると、以前より凶悪犯罪件数は減ったように感じられる一方で、未成年者プライバシーの保護の点から生じる隠された事実がある」と語った。顔写真や名前、その少年の住所、家庭環境など私たちに決して明かされない。これにより少年犯罪の決定的な原因つまり家庭環境からなのか、また他の原因からなのかは、私たちにはわからない。鮎川先生は、更生施設にいる少年たちに話を聞く機会がよくあり、マスメディアなどで流れている原因だとする情報が必要しも正しいというわけではないと先生は推測する。

さらに少年犯罪がなくなるための解決策を

### 明かされない少年犯罪報道、法の整備の意義とは

尋ねたところ、「一つに法を整備するなどして、犯罪をなくす環境を整えることが挙げられる。しかし統計的に減っているといつても、それで果たして減ったと言えるかどうかはわからない。一番重要なことは、犯罪は決してなくなるものではないものだと思うことである」と法整備の難しさを物語った。

その他にも、鮎川先生は現在マスメディアでは報じられない、ここ20年以前の犯罪被害者遺族のその後の様子や、また長期的に見た場合、何が遺族に対して本当に必要な支援なのか。さらに近年注目されている裁判員裁判について、一般人が死刑を下すことが、世界的視野に立った場合、今後の歴史においてどのように評価されるかについて研究している。

鮎川先生は本学に赴任して現在7年目となるが、最後にこれからの未来を背負う学生に向けて、「本学は、自分のやりたい事を自由にさせてくれる学校だから、その意味を履き違えることのないように、何か自分のやりたいことを見つけて率先してやるように」というメッセージを最後に語った。

### あゆかわ じゅん

愛知県生まれ。東京大学卒業、大阪大学大学院人間科学研究科後期博士課程中退。

松山商科大学（現 松山大学）、金城学院大学、スウェーデン国立犯罪防止委員会客員研究員、南イリノイ大学フルブライト研究員、ケンブリッジ大学客員研究員を経て、現在2004年から関西学院大学法学部法律学科教授。

今回は本格インド料理を手軽に楽しむことができる「アカーシユ」を紹介したい。店内はインドのポップスが流れ、現地で調達したインテリアが並ぶ。ドアを開けると、私たちがインド旅行へいざなう雰囲気包まれたお店と感じた。

ランチメニューの中でも人気があるのは、Aランチ(760円)だ。サラダに始まり、カレーはチキン、カレーと本日のカレーのどちらかを選択できる。「本日のカレーについては、季節ごとに30種類くらいあります」と店員は話す。さらに、ナンとライスのどちらかを選ぶことができる。ナンは、バスケットに収まらないほど大きく、モチモチとした食感が楽しい。そして最後は、ヨーグルトをベールにした飲み物のラッシー



ナンがカレーを引き立たせるAランチ (760円)

場所 西宮市門前町7-26  
連絡先 0798-66-7226  
営業時間 11:30~15:00 / 17:00~22:00 (L.O 21:00)  
定休日 火曜日のディナー

踏み出せ、学生。まずは華麗なるカレーを食べ、「アカーシユ」へ行ってみてはいかがだろうか。



## うつくしい子ども 石田 衣良

### 弟の犯罪に向き合い、強く生きる兄の姿を描く

「最低の人間だつて、誰かがそばに寄り添ってあげてもいいはずだ。それがほくの弟ならなおさらじゃないか」。

物語の中には14歳の少年の苦悩が悲しいほどに溢れていた。石田衣良著『うつくしい子ども』は1997年に起きた神戸連続児童殺傷事件をもとに書かれたものだ。ニュータウで9歳の少女が行方不明になり、数日後、無残な姿で発見された。犯人は13歳の少年。

幹夫は決して調査を止めなかった。「あいつが僕の弟だ」という事実は変わらないから」と、目に見えぬ多くの暴力から何度も立ち上がる幹夫の姿を私はうつくしいと思った。

子どもたちは一生懸命生きていく。自分自身に悩み、家族に悩み、友人に悩む。誰も傷つけない道はないのかと必死に探りながら生きているのではないか。大人たちがそんなうつくしい子ども達と、どれほど真正面から向き合っているのか。家族の問題が溢れる現代、大人の姿勢が問われている。



### 『どんな人だつてその人の人生という舞台では主役である』

#### 遠藤 周作

遠藤周作さんが『生きる』と題して語っている言葉だ。誰であれ自分の人生という舞台で自分が主役なのだ。つまらなさそうにしている主役の舞台はおもしろくない。私にとってこの言葉は自分の人生について考える良い機会となった。せつかく

与えられた主役なのだから他の誰にも負けない充実した舞台にしたい。そう考えながら生きていく。そんな人たちがあつた。

舞台は主役だけでは成立しない。脇役があつてこそ舞台なのだ。良い脇役が揃えば揃うほどより充実した舞台となる。周りの人たちが大切でできるということは、自分の舞台である人生をより幸せなものにできるのだ。

自分の人生では主役の私も、他人の人生から見ると脇役になる。そう考えると、他人の邪魔をしたり、無神経な言動で人を傷つけたりすることで簡単に悪役にもなってしまうのだ。そんな人間が、自身の舞台を充実したものにできるだろうか。他人に思いやりを持って人間は悪役にならない。それが理想的な舞台である。しかし、しがらみや挫折なしの舞台は、人間である

## 関西周辺の表敵なお店 アカーシユ

Vol.23

### 季節のカレーが30種、香辛料にもひと工夫



店内はインドのインテリアが並ぶ

か、インド風の紅茶のチャイを選択できる。優雅なランチのひとときを満喫できる。

カレーの辛さを調節できるのも魅力の一つだ。老若男女、それぞれが自分の好みの辛さで食べることができ。一番辛い50倍のスパイスまで調節できる。

インド料理と聞くと、最初は少し取っつきにくいかもしれない。しかし、「気を張らずに、気軽にインド料理を楽しんでほしい」と思っています」と店員は語る。

チキン (630円) や シークアバブ (580円) など、種類も豊富だ。注文が入ってから調理に取り掛かるため、出来たてのジュシーさが魅力だ。また店内は20席ほどで厨房と距離が近いので、自然と親近感が湧いてくる。「お客さんと身近に接したいの思いから、小さなお店で営んでいます」と話す。

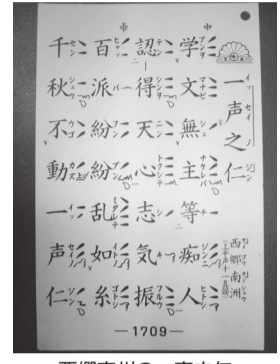
# 28文字の説教

## 詩吟部

詩吟は俳句や和歌、はたまたボエムなんかも吟じたりする。しかし、なんといつても漢詩が一般的だ。漢詩は私も高校生の頃に学んだはずだが、あまり記憶にない。詩吟で吟じる漢詩にも様々な種類がある。五言絶句、五言律詩、七言絶句に七言律詩、さらに長いものもある。間に今様を挟むものもある。その中でも息継ぎがしやすく、初心者でも吟じやすいのが七言絶句である。7文字の漢字が起承転結の順に4行並んでいる。高校の国語の教科書で見た覚えのあるようなものである。

私が1回生の頃、初めての賀城流大会で吟じる漢詩を探していた時に偶然目にふり、一目惚れをした漢詩がある。西郷南洲の一声之仁だ。これも七言絶句である。漢詩には、李白や杜甫といった昔の中国人が作った漢詩もあれば、日本人が作った漢詩もたくさんある。四季の

移り変わりや、風景の美しさを詠んだ漢詩もあれば、政治への嘆き、恨みを込めた漢詩もある。その漢詩を作った作者の気持ちを考え、吟じるのが詩吟の面白いところである。一声之仁は作者の西郷南洲と西郷隆盛が学問に対する心構えを説いたものだ。最後に仁すなわち慈しみや、情、思いやりの大切さを語るといって若干説教じみた漢詩である。当時、大学に入りたてだった私は、この西郷の7



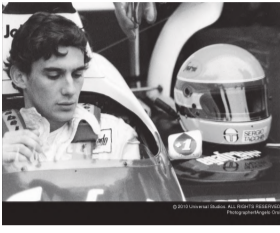
西郷南洲の一声之仁

字×4行の28文字の説教に心を打たれ、大会に向けてひたすら練習を重ねた。宅配のバイクのバイクに乗りながら練習をした。辛いながらも練習をした。辛くも練習はしていたってシンプルで、この28文字の説教をそらで歌えるようになった。詩吟部の主将となった今でも、自主休講の誘惑に負けそうになった時にはこの詩吟を思い出し、大きな体を揺らした西郷に喝入れられてもらうようにしている。

# セナ 音速の世界に生きた天才

## 映画研究部

アイルトン・セナ  
～音速の彼方へ～  
●公開年：2010年  
●監督：アジフ・ガバディア  
●出演：ウィヴィアーニ・セナ  
ミルトン・ダ・シルバ 他



1994年、イタリア、イモラ・サーキット。この地で1人のF1パイロットがこの世を去った。彼の名はアイルトン・セナ。当時、最も人気の高かったF1パイロットだ。今回、紹介する映画はセナの生涯に迫ったドキュメンタリー作品だ。現在でも最高・最速のパイロットとして圧倒的な支持を得ているセナ。彼がコクピットの中で何をしていたのか、

当時のインタビュー映像や、迫力のレース・シーンと共に明かされていく。F1を知らない人でもセナの名前を聞いた事のある人は多いと思う。私もこの映画を見るまでは、名前以外詳しい事は知らなかった。F1を知っている人やF1を知らない世代の人でも、この作品を見れば彼の凄さが分かると思う。セナはトルマンからF1デビューを果たす。84年のモナコGPでその才能を見せつけてからは、天性のドライビングセンスと甘いマスクで一躍スターとなる。その後、ロータス、マクラーレンとチームを移籍していくうちに3回の優勝を

# 心に響く演奏をめざして

## 関西学院交響楽団

11月3日、ママ上ホールにて新月祭クラシックコンサートが行われた。同じ時間帯に、人気アーティストのコンサートが中央芝生で行われていたにも関わらず会場はたくさんの方で満席になった。コンサートでは、「サウンドオブミュージック」など人気のあるプログラムで観客を楽しませ、「アンコール曲」に「ラデッキー行進曲」を演奏した。アンコールでは、観客から演奏に合わせて拍手が送られ会場は演奏者と観客の一体感に包まれながら終演した。

### 絵画部弦月会 第88回弦月会展

日時：12月14日(火)～19日(日)  
10時～18時  
(14日は13時～ 19日は16時まで)  
場所：原田の森ギャラリー本館1階展示室

### 関西学院交響楽団 第116回定期演奏会

日時：2011年2月13日(日) 開場 14:15 開演 15:00  
場所：兵庫県芸術文化センターKOBELCO 大ホール  
交通アクセス：阪急電鉄神戸線 西宮北口駅より南へ徒歩2分  
☆チケットは500円(前売り、当日共に全席自由)  
関学生協でチケット取扱中

### 文化総部軽音楽部 『K.G.Winter Swing Concert』

日時：12月18日(土) 開場：11時40分 開演：12時00分  
場所：関学会館  
出演：K.G.Swing Charioteers (関学ビックバンド) 他1組  
ゲスト：Gingerbread Boys (プロコンボ)  
入場料：500円 問合せ先：藤本 080-1361-9040

---

### OSAKA BIG BAND FRIENDS

日時：12月26日(日) 開場：13時00分 開演：13時30分  
場所：よみうり文化ホール(千里中央)  
出演：K.G.スウィングチャリオティアーズ2010 他4組  
入場料：一般2000円/学生1500円(全席自由)

# 文芸部 読み切り小説 『待つ間に』

曾根崎 十三

君が好きだよ  
傘の中で呟いてみた。  
白い息と一緒に吐き出された言葉は傘の中を飛び出し、冷たい雨の中に溶け込んでいた。  
この言葉を使うのは何度目だろうか。少し思い返しただけでも、両手の指では数え切れない。ただか二十年程度のこの短い人生の中で私は一体何度この言葉を使っただろうか。  
「好きだよ」  
誰も居ない闇に向かって、もう一度吐き出してみた。  
雨の筋の向こう側に見える時計は、彼が来るまであと三十分という時刻を示していた。  
「好きだよ」  
どれほど心を込めてみても、薄っぺらい。使い古された嘘臭い言葉。誰かに用いた言葉と同じ。そんなものでしか私は気持ちを伝えることが出来ない。  
何か、彼のためだけに用意できる言葉があればいい。まささらの言葉を彼に渡したい。それなのに、思いつく言葉はあれもこれも使用済み。  
もしも、の詩。  
たとえはもしも、私と彼が手を繋いだとする。私はきゅんと彼の手を握るだろう。でも、それはもう既にやったことがある。彼じゃない、彼で。  
まささらの言葉以前にまささらの私がない。  
傘をくるんと回すと水滴がぱつと広がった。雨の花が咲いた。そして、その雨の花の間から「リサイクルにご協力ください」の文字が見えた。何度も雨に打たれ、錆び始めた古そうそうなく入れ。中で空き缶たちがぐちゃぐちゃと倒れている。すっかり使い果たされてしまっているみたいだ。それでも、いずれ溶かされ、再び缶になる。もしくは他の金属製品。そうやって生まれ変わる。その時彼らはきゅんと、使用済みではないんだらう。まささらの、新品のそれ。  
「君しやなや駄目」  
果たしてそうだろうか。これで何人目だ。それでも、私は本当にそう思っている。嘘じゃない。今も、あの時も、この言葉を発したあの時も、それは嘘じゃなかった。新品じゃない、中古の言葉と気持ち。そして、私。  
ぼたり、と傘の淵から手の甲に落下した水が沁みる。骨の髄まで沈み込んでいくみたいなのがした。  
雨のカーテンの向こうから何度も見つめた人影が近付いてくる。見間違える筈がない。きゅんと、一際強く胸が高鳴った。傘を持つ手が震える。思わず彼の方から目を反らしてしまった。  
本当は分かっている。あの彼を好きな私は今ここに存在している。あの人を好きな私は間違いない。初めてで、それは使用済みでも使い回しでもない。  
この胸の高鳴りは他の人とは違う。彼が特別なわけじゃない。どの人も違った。それでも今日の私は、昨日よりもっと彼を好きになったと思う。明日はきゅんと今日よりもっと彼を好きになる。でも来月はどうか。来年は、再来年は。そうなるとうも誰にも分からない。  
本当に怖いのは、この気持ちも思い出なくなってしまふこと。現在進行形じゃない、過去の産物。  
そうならないことを願って、私は彼の方へ向き直る。

# 学生・大阪維新の会代表に 法学部3回生 市橋 拓さん就任!

大阪維新の会を支持する学生の団体、学生・大阪維新の会の代表に市橋拓さん(法・3)が就いた。10月13日に開かれた学生・大阪維新の会の発足式には京都大学や大阪市立大学など関西の学生が集結。大阪維新の会の橋下代表をはじめとする約800人もの人々が発足式に参加した。

今回、関西の学生を先導する市橋さんとどのような人物なのか、取材した。

「政治に興味をもったきっかけは？」

1回生のとき、議員インターンシップの案内をもらったのがきっかけ。2回生から政治に関連する色んな啓発イベントに自主的に参加するようになった。当初は政治家に対する漠然としたイメージしか持っていなかった。でもイベントを通して関西で活躍する多くの政治家と出会い、語り合うことで政治への理解が深まった。2年間で築いた人間関係を基盤に、現在は講演をしたり、大学生向けに政治塾を開くなどの活動をしている。

「学生・大阪維新の会発足のきっかけは？」

橋下代表と出会ったのは2回生の時に参加した「投票向上キャンペーン」。このキャンペーンに橋下代表が参加し、(市橋さんは)スタッフとして参加していた。橋下代表との質疑応答で、ある女子学生が「若者の政治離れを解決するためには、もっと政治家が学生に対してアピールする必要がある」と発言。すると、橋下代表は「自分のところにボールがくるのを待っているのではなく、取りに来い。政治を学びに来い」と答えた。その答えに疑問をもち(市橋さんは)手を挙げた。「確かに政治に関心を持っていない若者が悪い。しかし、そんな若者しか作ることができない社会も悪い。学校は政治の仕組みを暗記させるだけで、実際に活かせる政治は教えない。僕が学生を集めて活かせる政治を教える」と話した。それをきっかけに学生の団体を作ることになった。

「学生・大阪維新の会のメンバーはどうやって集めたのですか？」

まずは知り合いからメンバーを集めていった。学生・大阪維新の会を結成するまでの間、色んな葛藤があった。仲間を巻き込んでいいのか。本当に悩んだ。

「橋下代表を支持する理由は？」

橋下代表は何かを変えてくれる人。今、大阪は本当に危ない。5年後には財政破綻する。現状維持ではいけない。現状を変えてくれるリーダーが必要だ。

「どうして『僕が大阪を立て直そう』と思ったのですか？」

とにかく当事者意識が強い。小学生の時、ホームレスを家に連れて帰ろうとしたことがあった。それは結局、母に止められたけど(笑)。昔から誰かが困っていると「なんとかならんのか」と悩んでしまう。だから、今の大阪を見てみると辛い。「なんとかせな」と思う。

「市橋さんは3回生ですが、就職活動はしないのですか？」

就活は今じゃなくても出来る。来年だつてある。就職活動と大阪の歴史を変えることを天秤にかけたら、迷うことなく後者だった。人生は1本の映画だと思ふ。どんな映画を見たいか。無難な映画よりも、僕は山あり谷ありの映画のほうがおもしろいと思う。

「夢がありますか?これから何をしたいですか?」

今からどうやって生きていくかということよりも、どうやって死ぬかを考えた。死ぬときにいったい何が欲しいか。僕は死ぬ時に、自分のマインドを引き継ぐ次の世代がいたら、幸せ。次の世代を育てていきたい。特に、先のことを考えて行動できる「リーダー」の育成が必要だ。

「政治以外に、なにか気になるニュースはありますか?」

日本の優秀な人材が海外に出ていく傾向があること。みんな勘違いしている。どうして日本人が海外に行つたときに受け入れられないのか。



発足式で壇上に乗る市橋さん(中央公会堂にて)

か。それは外国が日本という国の国力に対して信頼を寄せているから。その信頼は先人が築いたものだ。僕たちは先人の力を食いつぶして、次の世代には何も残さないのか? 次の世代に何か財産を残してあげないといけない。そのために日本を立て直さないとイケない。

「関西学生にメッセージを。」

タフでいてほしい。みんなが考えている以上に、日本はやばい。これから増税や医療費の値上げは必須。それに反し、年金は底をつき、退職金ももらえないのか分らない。僕らの老後は真つ暗だ。誰かが何とかしてくれと思うてはだめ。覚悟を決めない。自分の問題だと当事者意識を持ち、行動に起こさないとイケない。

## 開学から大阪を変える!

大阪府構想とは?

大阪府庁と大阪市役所をひとつにし、大阪府を作るというもので、東京都の行政の体制をモデルにしています。東京都は23の特別区があり、それぞれに選挙で選ばれた区長がいて、区議会も開かれています。東京都の「区」は「市」とほぼ同じ役割を担っています。そして区の集まりである東京都を代表するのは、東京都知事ひとりです。

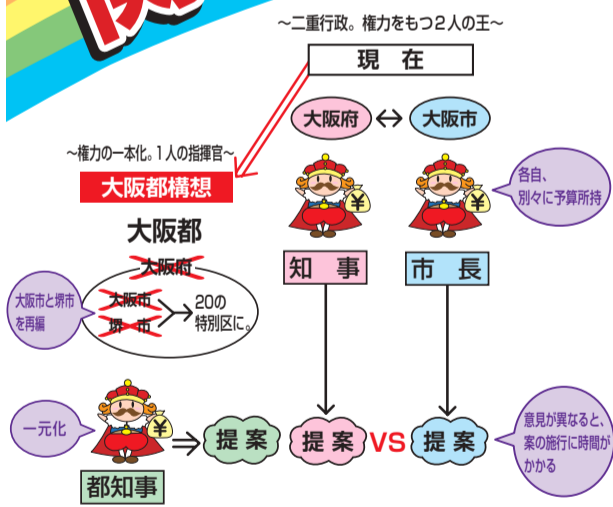
それに比べ、大阪府にある24の区の区長は、大阪市長により任命されます。区議会も開かれませんが、そして大阪には大阪府知事と大阪市長の2人のリーダーがいます。

「都市の指揮官は1人で十分」というのが橋下代表の主張です。たしかに決定権を持つリーダーが2人いると、重要な施策を決定するにも片方が反対すると施行できないなど、時間を有するケースがあります。また、大阪府と大阪市ではお金の出所が違いため、府と市が似たような施設(会館、水道など)に各自で投資するという無駄も生じます。橋下代表はこれらのお金時間の無駄を削減するために、大阪市24区を中心とした特別区を設置し、府と市の一元化「大阪府構想」を目指しています。

「ぼくはまず大阪を立て直さないと」。この言葉の裏にどれだけの努力と苦悩と勇気があったのだろうか。市橋さんの第1印象は「何か変えてくれそうな人」。彼はそう期待させるだけのオーラを持ち合わせていた。「僕は次の世代に残せるものはマインド」。市橋さんの言葉はどこまでも強く、透き通っている。

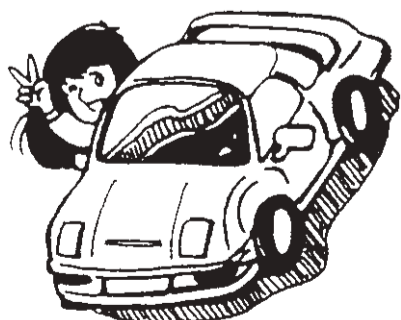
実は、当初の企画では大阪維新の会の橋下代表と市橋さんの対談を考えていた。しかし維新の会より、取材は受けられないとの回答があり、断念せざるを得なかった。「学生が大阪に関心を持つ最大のチャンスなのに」と嘆く私に、市橋さんは「僕も橋下代表に会うまで時間がかかったんだから」と笑った。諦めず少しずつ歩んできたからこそ、今の市橋さんの姿がある。私も少しずつ歩もう。そして、必ずや橋下代表と市橋さんの「大阪への熱き想い」を込めた対談を実現させた。

編集後記



開学・神戸三田キャンパスから  
一番近い AUTOMOBILE SCHOOL

授業のあいだに  
楽々教習!



SANDA AUTOMOBILE SCHOOL

SAS SINCE 1963

大学生協  
サービスカウンターにて受け付け

お問い合わせは  
お気軽にお電話で

TEL三田(0795)  
62-2995 (代)

公安委員会指定技能試験免除  
三田自動車学院

大型科・普通科 (MT・AT)・大型二輪科  
普通二輪科 (小型限定)・審査科 (普通・自動二輪)